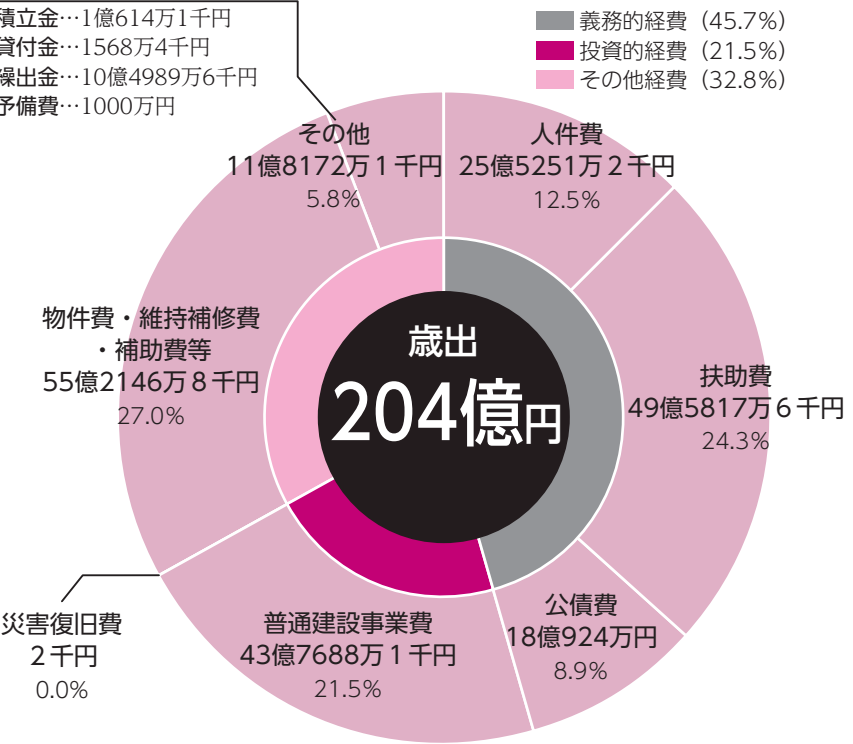
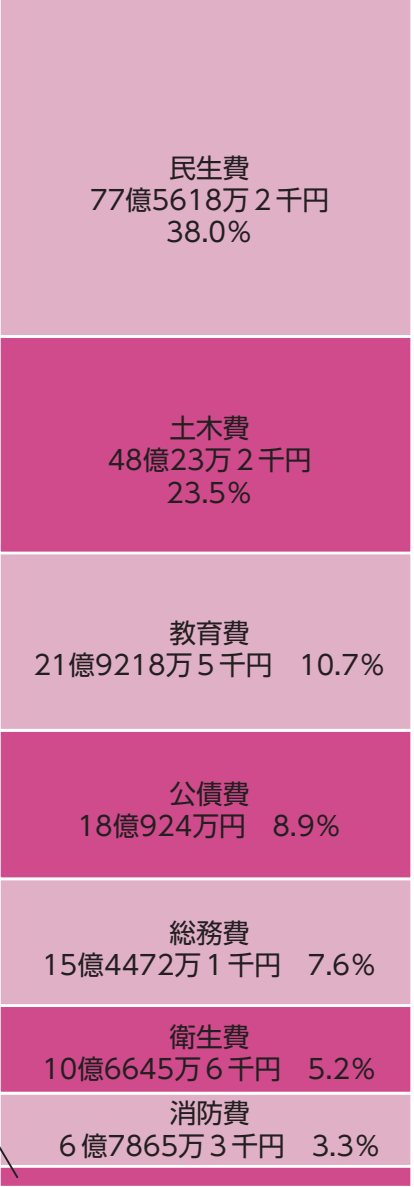


性質別グラフ



歳出は、子育て支援や高齢者・障害者福祉などにかかる民生費が、最も大きな割合（38.0%）を占めています。次いで、土地区画整理事業が道路整備などの土木費（23.5%）、学校教育をはじめとした教育費（10.7%）となっています。また、市債の返済にあたる公債費は、8.9%となっています。性質別では、義務的経費（人件費・扶助費・公債費）が45.7%を占めています。

目的別グラフ



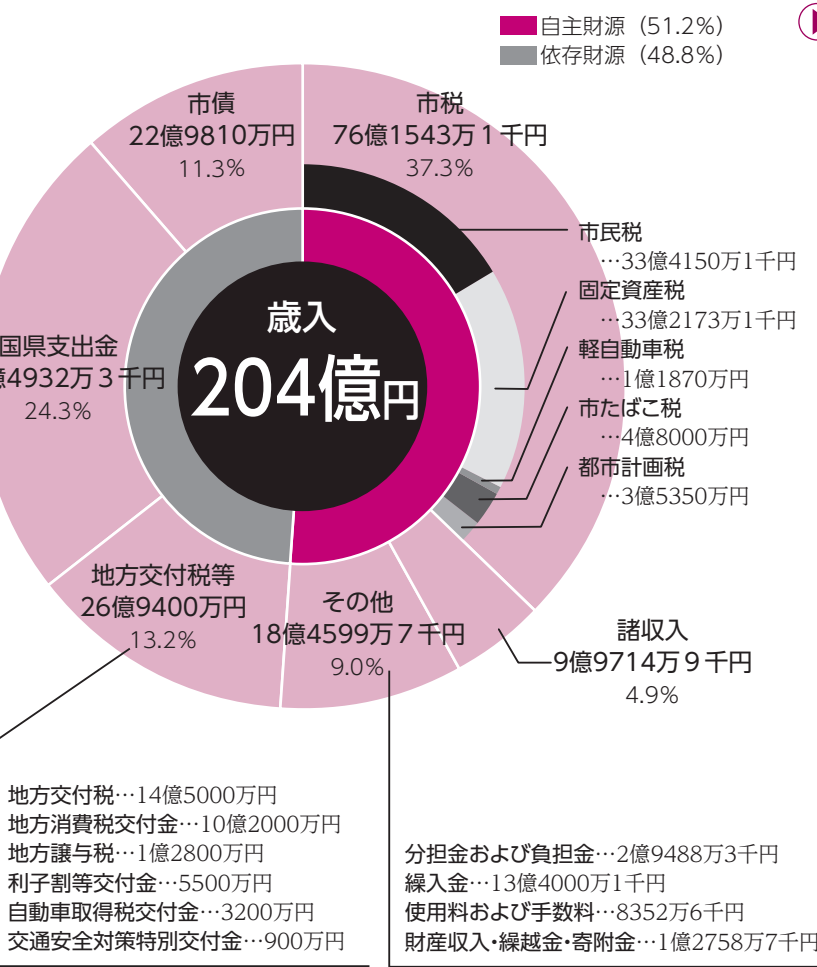
用語説明

【歳入】市税：皆さんに納めていただく税金。地方交付税：地域間の格差を少なくするために国税の一部を地方に交付するお金。国県支出金：市が行う事業に対して国と県から交付されるお金。市債：市の借入金（借金）で、償還が会計年度を越えて行われるもの。繰入金：基金の取り崩し金や他の会計から繰り入れたお金。

【歳出】民生費：生活保護、障害者・高齢者に対する福祉、子育て支援などに関する経費。土木費：道路、河川、公園などの整備・維持などに関する経費。教育費：教育や生涯学習の充実、文化・スポーツ振興などに関する経費。公債費：市債の償還に関する経費。衛生費：行政の事務などに関する経費。消防費：消防や防災などに関する経費。商工費：商工業や観光振興に関する経費。議会費：議会運営に関する経費。農林水産業費：農業振興などに関する経費。労働費：労働者支援に関する経費。予備費：予定外の支出や予算を超過した支出へ対応するために準備しておく費用。人件費：報酬や給与などの経費。扶助費：生活保護対象者、高齢者、児童、心身障害者などに行う支援のための経費。普通建設事業費：道路や公共施設の建設事業に必要なとされる投資的な経費。物件費：賃金や旅費、交際費、需用費など消費的性質をもつ経費。維持補修費：道路や公共施設などを管理するために必要な経費。補助費等：市から他の団体などに対して行政上の目的で支払う経費。積立金：将来に備えて積み立てておく費用。貸付金：公益社団法人などに対する貸付のための経費。繰出金：一般会計、特別会計、基金との間で、相互に資金運用するための経費。

平成30年度 市の予算

1年間の収入と支出の見積もりについて、お知らせします。市ホームページでも紹介しています。財政課 ☎227-6031



市債の今年度末の残高は前年度末に比べ、約6億3千万円増加し、215億5870万1千円となる見込みです。

	平成29年度末	平成30年度中増減見込み		平成30年度末
	現在高見込額	起債見込額	元金償還見込額	現在高見込額
総務	98億2441万円	7億110万円	7億6324万4千円	97億6226万6千円
土木	45億4430万8千円	14億2280万円	3億6000万7千円	56億710万1千円
教育	39億5996万6千円	1億1640万円	3億828万4千円	37億6808万2千円
消防	11億9439万5千円	860万円	1億919万5千円	10億9380万円
民生	6億5112万9千円	1050万円	7854万2千円	5億8308万7千円
その他	7億5395万4千円	3870万円	4828万9千円	7億4436万5千円
合計	209億2816万2千円	22億9810万円	16億6756万1千円	215億5870万1千円

※その他の内訳：農林水産業・商工・衛生・公営住宅

過去2番目に大きい予算規模に

一般会計当初予算総額は、204億円で前年度に次いで過去2番目に大きい予算規模となっています。歳入は、市税が最も大きな割合（37.3%）を占めています。次いで、国や県の補助金が24.3%、地方交付税等が13.2%、市債（国や銀行からの借金）が11.3%となっています。歳出に対して歳入が不足することから、基金から13億4千万円を繰り入れます。歳入は、市税などの「自主財源」と国や県からの交付による「依存財源」の大きく2つに分けられ、自主財源が多いほど財政状況が安定していると言えます。※なぜ借金（市債）するのか市がつくる道路や学校などの施設は、つくる年だけでなく、将来にわたり次の世代の市民にも公平に負担してもらうため、借金をすることにより「分割払い」としています。

特別会計	
	歳入・歳出
国民健康保険	45億1600万円
後期高齢者医療	4億7000万円
介護保険	25億9500万円
水道事業会計	
収益的収入	8億8700万円
収益的支出	7億8900万円
資本的収入	3億5700万円
資本的支出	7億1200万円
公共下水道事業会計	
収益的収入	12億4000万円
収益的支出	13億6400万円
資本的収入	7億7800万円
資本的支出	11億6400万円